

勝山中学校 校訓（案）について

令和 7 年度第 6 回総務部会の協議を踏まえ、勝山中学校がめざす 4 つの生徒像を具現化する校訓（案）を以下の通り提案します。

新中学校が目指す生徒像

- （１）何事にも自信を持って粘り強く挑戦し学び続ける生徒 Challenge
- （２）多様な他者と協働し主体的に考え行動する生徒 Collaboration
- （３）自分と他者のよさを認め尊重し関わり合う生徒 Communication
- （４）自分らしい生き方を考え将来をデザインする生徒 Career

校訓（案） 「 立志 敬和 協創 」

（１）めざす生徒像との関連

「立志」 （１）（４）を具現化

自分の将来をデザインし、その目標に向かって自信を持って粘り強く学び続けるという
「個の自立と挑戦」を示す

「敬和」 （３）を具現化

お互いのよさを認め、心を通わせて共に関わり合う「人間関係の土台」を示す

「協創」 （２）を具現化

多様な他者と協働し、主体的に考えながら新しい価値を創造していく「社会で必要な力」を示す

（２）語の並び順

中学生に説明するとき、次の 3 つの成長のステップとして語ることができる
まず、自分自身の目標をしっかりと持ち（立志）、
そのために仲間とお互いを尊敬・尊重し合い（敬和）、
みんなで力を合わせて新しい未来を創り出そう（協創）

（３）類義語

「敬和」と「敬愛」

「敬和」は、一人ひとりを尊重することで集団の中に協力関係を生み出すイメージ

「敬愛」は、人に対して心からの尊敬と親しみの気持ちを持つイメージ

「協創」と「共創」

「協創」は、同じ目的・目標に向かってみんなで役割分担し協力して取り組むイメージ

「共創」は、多様な価値観を持つ人たちが立場を越えて対等に交わり、新しい価値を生み出すイメージ

※参考

○新中学校が目指す学校像

(1) 「新しい時代に生きる力を育む学校」

自ら考え、他者と協働しながら課題を解決していく主体的な学びを支援する学校

(2) 「夢や希望の実現を支援する学校」

個性や能力を伸ばし、目標に向かって自ら粘り強く挑戦することを支援する学校

(3) 「ふるさと勝山への誇りと愛着を育む学校」

地域とつながり、豊富な体験活動を通したふるさと勝山の学びを支援する学校

(4) 「安全・安心で保護者や地域から信頼される学校」

互いに認め合い尊重し合って、生き生きと学校生活を送ることを支援する学校

○現中学校と勝山高校の校訓

南部中学校 「自立 敬愛 協力」

中部中学校 「奮起・自主・協同」

北部中学校 「敬 愛 信」

勝山高校 「真 誠 信」